

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： がん細胞外小胞の臨床応用へ向けた基盤技術開発研究
2. 研究代表者： 横井 暁（名古屋大学 医学部附属病院 病院講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、エクソソームをはじめとする細胞外小胞（Extracellular Vesicle:EV）に着目し、徐々に明らかになる EV の可能性を大きく臨床応用へと進めるための礎となる革新的技術開発を実施することを目的としている。

フェーズ1では、革新的ながん EV 解析法の開発に取り組み、ポリケトン鎖修飾ナノワイヤ、EV シートの開発に成功し、共同研究を積極的に進めることで大きな成果を上げている。疾患特異的な EV マーカーの探索や DNA-EV の解析など従来の EV 研究を大きく進展させる可能性がある。フェーズ2の研究計画では、新規 EV 解析デバイスを活用した新たな病態解明及び治療への応用、バイオマーカーの開発、及び解析技術の開発を進めることで、実用化に向けた成果を大きく期待する。

以上